



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったり、パソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

### ～綱引きや相撲など～ 市内各地で十五夜行事

旧暦8月15日の十五夜には、日本全国で中秋の名月を祀る行事が行われています。

鹿児島県内では綱引きや相撲などが昔から行われ、中でも南薩地域では綱を茅で練り、茅の束の帽子をかぶった



西白沢公民館では大きな綱を練り上げる

り、綱で土俵を作って相撲を取ったりなど、特色のある行事が行われることから、枕崎市、南さつま市坊津町、南九州市知覧町の十五夜行事が「南薩摩の十五夜行事」として国の無形民俗文化財に指定されています。

枕崎市内では今年は23の公民館で十五夜行事が行われ、ほとんどの地域がロープで綱引きを行いました。西白沢公民館では大人と子供と一緒にワラとカズラで綱練りを行い、立派な綱を作りました。

それぞれの地域では綱引きの前に「愛宕（あたご）参り」の十五夜唄を唄ったり、相撲や踊りなども行われました。子供たちも綱引きに参加して全力で綱を引っ張っていました。



桜木町公民館で行われた「大人対子供」の綱引き

立神小学校では読書活動の一環として郷土の民話の伝承を行っており、枕崎市立図書館の方々に来ていただいて、10月13日に4～6年生、18日に1～3年生に郷土の民話の読み聞かせを行いました。

「郷土の民話の伝承」は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねていて、地域の子供たちに枕崎の民話を語り継いでほしいということで、毎年行われています。



「はとぼっぽのおじさん」に興味津々

### ～読書活動で郷土の民話を伝承～ 立神小学校

今年読み聞かせをしたのは「はとぼっぽのおじさん」というお話です。枕崎の鰹漁船に無線設備のなかった大正時代、台風などの天気を鰹漁船に知らせたり、鰹の漁獲量を船から港に連絡するために、伝書鳩を育て、訓練して船との通信連絡を行った中釜精一郎さんの話を紙芝居にした物語です。

紙芝居をプロジェクターで映し出して読み聞かせを始めると、子供たちは興味津々に聞き入っていました。

市立図書館が製作している郷土の民話は、紙芝居の他にも絵本や絵巻などいろいろあります。

「はとぼっぽのおじさん」など郷土の民話に興味のある方は、市立図書館にお問い合わせください。

### ～10種類の「昔の遊び」を体験～ 立神小学校

立神小学校では、10月12日に小学校1、2年生と地域の老人クラブの方々が「水てっぽう」や「こま回し」など10種類の「昔のあそび体験学習」で交流活動を行いました。

立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、老人クラブの方々も子供たちと遊ぶのを毎年の楽しみにしています。

子供たちは、校庭や体育館、教室を回りながら、「どんぐり回し」に挑戦したり、「けんけん遊び」を楽しんだりして、10種類全部の遊びを体験しました。

「竹トンボ」は、老人クラブの方々の手作りによるものを用意していただきました。羽根の下の竹の棒を手のひらで思い切り回すと勢いよく竹とんぼが空に舞い上がります。

子供たちは、竹トンボを高く飛ばすのに苦労していましたが、タイミング良く飛ばせた時は、大空高く舞い上がり、老人クラブの方々と一緒に喜んでいました。



大空高く舞い上がる竹とんぼ

### ～家庭科でミシンの使い方の指導～ 桜山小学校



完成したトートバッグ

桜山小学校では9月28日と10月5日に6年生の家庭科で

ミシンの授業があり、「たけのこ」と「家庭倫理の会」の延べ6名の学校応援団ボランティアの方々が指導してくれました。

子供たちは班に分かれてトートバッグ作りに取り組みました。布にミシンで縫う部分のしるしを付け、まち針で止めてからミシンで縫っていきます。ボランティアの方々に教えてもらいながら、作品づくりに取り組みました。

最初は慣れない手つきでミシンを操作していましたが、時間が経つにつれ上手になり、持ち手も付けてトートバッグを縫い上げていました。



ミシンで縫う児童をみんなで見守り

### ～家庭科で手縫いとミシンの指導～ 立神中学校



「からふるころりん」製作の様子

立神中学校では9月から10月にかけて、2年生の1クラスと3年生の2クラスで、家庭科の手



「からふるころりん」の完成形

縫いとミシンの授業があり、「一六会」「たけのこ」「家庭倫理の会」のボランティアの方々に、3回の授業で延べ16人来ていただいて指導をしてもらいました。

それぞれのクラス2時間ずつの授業でしたが、2年生は「チビトートバッグ」など1枚の布からミシンで縫い合わせる作品を、3年生はハサミでフェルトを切り抜いて「からふるころりん」や「サッカーボール」など、幼児のおもちゃの製作に取り組みました。

2年生、3年生とも時間に追われながらの製作でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、上手に作品を仕上げていました。